

【静岡県立静岡高等学校】

令和7年度 第3回 学校運営協議会 議事録
(兼学校関係者評価委員会及びコンプライアンス委員会)

日時：令和8年2月5日（木）
午後2時～4時30分
会場：静岡高等学校 会議室他
進行：全日制教頭
記録：主幹

(出席状況 委員7名中5名出席 含コンプライアンス委員)

1 授業参観（午後2時～2時30分）

授業参観を実施するとともに、校舎の塗装工事の状況を確認した。

2 授業参観後の確認事項

- ・ホームページの内容確認
- ・部活動の紹介方法、文化部統合の件等について意見交換

3 開会

(1) 教頭報告

欠席委員の報告および配付資料の説明があった。

(2) 校長挨拶

本日は第3回学校運営協議会であり、学校評価の機会でもある。学校経営計画に基づく取組をアンケート結果として数値化し、自己評価を示した上で、委員から評価をいただく流れである。

現在、生徒はインフルエンザ流行の影響を受けている。12月から流行が続き、1月に一時減少したが再び増加傾向にある。3年生は共通テストをほぼ全員が受験した。最後の1か月を全力で取り組ませ、良い結果につなげたい。

部活動では国民スポーツ大会で1年生が優勝するなど成果を上げている。ARDF全国優勝者や陸上競技など、日本代表級の活躍もある。学業面では読書感想文コンクールで県最優秀賞、全国第2位の成果を収めた生徒もいる。文武両道の実績が顕著である。

4 報告事項

(1) 全日制の学校経営

校長より学校経営計画、アンケート結果、学校経営報告書について説明があった。教頭より部活動実績、社会貢献活動、不祥事根絶取組計画、生徒指導共通ルールについて説明があった。

(2) 定時制の学校経営

教頭より学校経営計画、報告書、教育新聞記事、学校生活振り返りシート集計結果について説明があった。

5 協議

会長の進行で協議を行った。

D 委員

数値は全体として良好であり、経年で右肩上がりの項目も多い。学校への愛着が高まっている可能性がある。

インフルエンザ対策として、休み時間の短時間一斉換気など具体策をマニュアル化することが有効である。小テスト終了直後の会話増加が感染拡大要因になり得るため、注意喚起が必要である。定時制の取組も適切である。

E 委員

各項目について、80%台の数値は十分高い評価である。1年生の数値がやや低い点について背景分析が必要である。

「規則正しい生活」の設問は抽象的であり、睡眠時間確保など具体化が望ましい。総合型選抜は増加傾向にあるが、明確な強みを持つ生徒が有利である。戦略的指導が重要である。

定時制の探究学習は感動的であり、意義が大きい。

広報については、立て看板に写真を添えるなど視覚的工夫が有効である。

A 委員

評価結果は概ね妥当である。進路指導（高3・90%）はさらに高められる可能性がある。O Bの活用により充実が図れるのではないかと。

「静高に入学してよかった」という実感が将来的に100%に近づくことを望む。行事は可能な限り維持してほしい。

F 委員

生徒の授業への姿勢は年々向上している。図書館空調の早期改善を求める。

働き方改革は一層の工夫が必要である。定時制の存続が困難な状況は残念であり、残された期間で良さを発信すべきである。

C 委員

行事や取組は増える一方で減りにくい。削減・改善の具体例を問うた。

校長回答

土曜授業回数削減、行事整理、学力テスト縮減等を実施した。業務削減は容易ではなく、人員支援の必要性を感じている。教員は研修意欲が高く、専門性向上を望む傾向がある。

AI活用は個人レベルで進んでおり、今後研究を深めたい。

定時制教頭

中間テスト日数削減を試行。通級指導生徒が増加している。キャリア教育としてインターンシップ対応業務が増えている。

不祥事根絶取組

特段の事案はない。修学旅行のしおりをデジタル化するなど改善を図った。

6 委員退任挨拶

A委員は、静高の魅力は学力のみならず行事や人間的成長にあると述べた。

F委員は、文武両道の伝統を高く評価し、今後の発展を祈念すると述べた。

7 閉会・諸連絡

- ・評価シート提出依頼
- ・議事録確認後、ホームページ掲載
- ・来年度予定は2月末までに通知予定

以上で閉会した。